

島根原子力発電所周辺海域の 「うるみ現象」調査

服 部 守 男

1. 目 的

島根原子力発電所の運転開始にともない、同発電所排水口周辺海域において、「うるみ現象」が発生し、海底の透視度が悪くなり磯見漁業に影響を与えているので調査を行なった。

2. 実施の概要

調査は調査船かしま（0.9トン）にて観測を行ない、水温、塩素量、潮流、うるみ強度、うるみ礫層の測定、写真撮影等を実施した。

3. 実施経過

(A) 「うるみ現象」観測調査

調査日	昭和49年	8月31日	第1回
	"	9月13日	第2回
	"	9月18日	第3回
	"	9月25日	第4回
	"	11月 5日	第5回
	"	11月26日	第6回
	"	12月17日	第7回

(B) 排水口周辺の磯根生物調査（潜水調査）

(1) 調査月日

	昭和50年	5月22日	第1回
	"	5月28日	第2回

(2) 調査内容

- i 潜水による有用貝類の実態観察
- ii 生物採取（坪刈り）

iii 水中写真撮影

(C) 「うるみ現象」室内実験

(1) 実験月日

昭和49年5月8日 第1回

〃 6月28日 第2回

(2) 実験内容

ピーカー内におけるうるみ現象の観察

(D) 「うるみ現象」(予備)調査

(1) 調査月日

昭和49年2月27日～6月26日 (7回)

(2) 調査内容

陸上調査, 海上観測調査, 目視調査

4. 調査結果

島根原子力発電所周辺海域の「うるみ現象」調査報告書(昭和50年8月発刊)に発表